

# 患者中心型デザインワークショップ手法を用いた 看護用具・用品開発の支援

## 研究概要

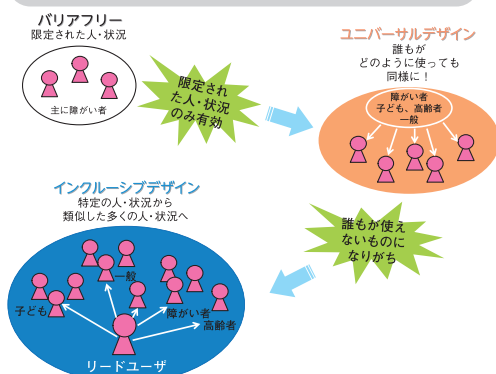
本研究の目的は、**看護用具・用品開発**において、患者やケア提供者のニーズに即した製品のデザイン化を図る手法として、**患者中心型デザインワークショップの手法**を用いて、**開発支援**および**手法の評価**を行うことである。

〔共同研究者〕 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任准教授 西山敏樹  
恩賜財団済生会横浜市東部病院 又吉慧

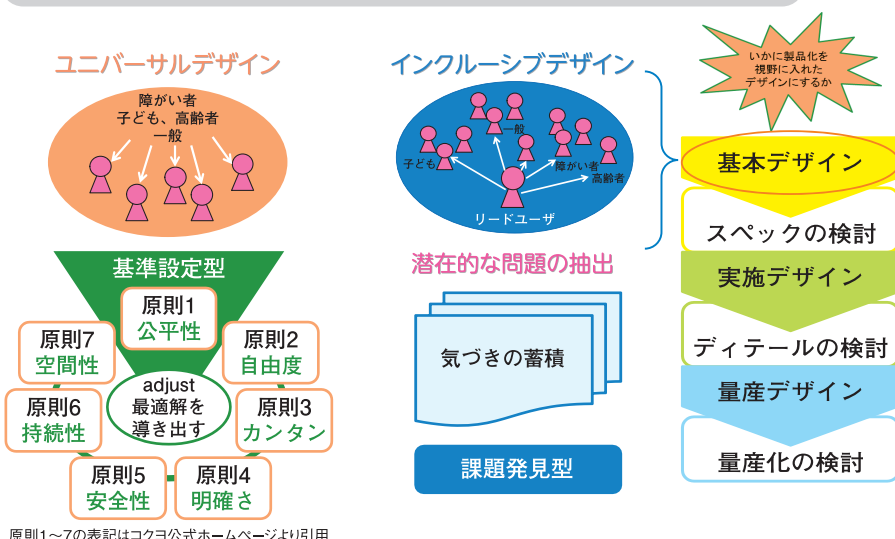
## 患者中心型 デザインワーク ショップの手法

本手法は、インクルーシブデザインワークショップの手法に、システムデザインの視点を取り入れた研究メンバーが考案した手法である。ニーズ調査で導き出された情報に対して、**価値観・制度・技術**の3つの指標で分類・評価し、よりニーズに沿ったデザインに導くことをねらいとしている。

## インクルーシブデザインの概念



## インクルーシブデザインワークショップの手法と課題



## 企業との共同研究：POL Houseの研究



Principle of Life

WORK SHOP

2013.4.1より、Space of Fiveと共同研究開始

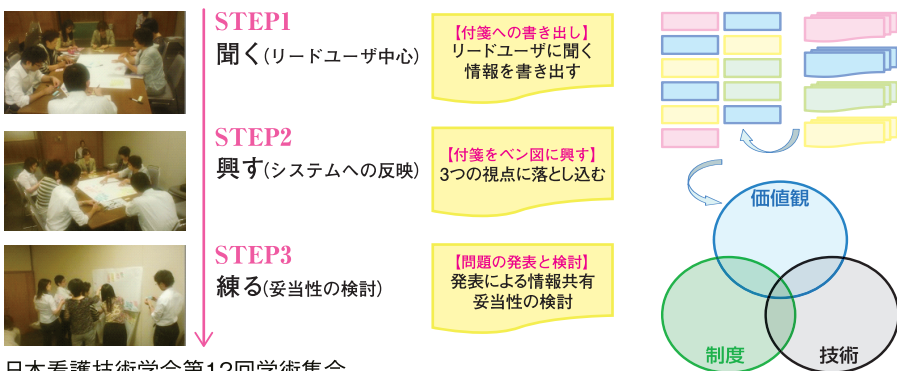
Principle of Life.

あなたがあなたらしく生きるための  
あなたの中にある人生の根源

インクルーシブデザインワークショップの  
手法によりその概念を導き出しています

Space of Five

## 患者中心型デザインワークショップの手法



日本看護技術学会第12回学術集会  
交流セッション(2013.9.15)

## 研究成果 の活用

- ① 企業・大学・自治体：ものづくりの実践、開発手法の創出、教育実践、制度設計
- ② 医療機関・介護施設：ものづくりの実践、看護教育・技術、介護方法への応用
- ◎ 看護・介護・福祉分野のものづくり
- ◎ システムデザインや仕組みづくり
- ◎ 教育・学習支援に関する学びづくり

患者中心型デザインワークショップの手法は  
多様なニーズに応用可能です



目白大学

人間学部子ども学科 専任講師 西山里利(にしやまさとり)

TEL 03-5996-3152 FAX 03-5996-3163

E-mail : nishiyama@mejiro.ac.jp